

若い先生のための「学級経営講座」1

埼玉県教育局東部教育事務所

～夏休みに学級担任がしたいこと～

平成23年8月2日発行



夏休み中も、子どもとのコミュニケーションを図りましょう！

夏休みに入ったと思ったらもう8月、あっという間ですね。



夏休みになったといっても7月中は、サマースクールや水泳教室、中学校では部活動の指導、年次研修会や教育課程研修会など、忙しい毎日だったことと思います。

8月になると、少しゆとりの時間も生まれてくるのでしょうか。しかし、学級の子どもたちと会える機会も減ってきてしまいますね。

そこで、学級担任の先生には、子どもたちとコミュニケーションを続ける努力をして欲しいと思います。



電話をかけよう！

※かける時間や対応の仕方など、マナーを守る。

「元気になっていますか？」

「宿題は進んでいますか？」

「どんなことをして、過ごしていますか？」

「宿題など、困っていることはありませんか？」



こんな簡単な会話でいいのです。

子どもたちは、先生からの電話を喜びますよ。児童・生徒理解にもつながります。

(保護者にも「うちの子に気をかけてくれているな」と喜んでもらえます。)

→ 信頼へとつながります。

※ 気になる子どもだけでなく、すべての子どもとコミュニケーションをとりましょう！ (学級名簿に記録しておくとうい)

宿題に困っている子どもがいたら・・・

→ さらにコミュニケーションが取れるチャンスですね。

ミニサマースクールが開けるかもしれません。

- ※ 学校等で、ミニサマースクールを開く際には、安全面、健康面等に、十分注意をしてください。(子ども、先生共に)
また、管理職の先生に相談することも忘れずに。



地域の公園や図書館等に出掛けよう！

電話でのコミュニケーションから得た情報をもとに、
地域に出掛けて子どもたちに会おう！



教室では見られなかった、子どもたちの地域での姿を見ることができます。

- ※勤務時間中に地域パトロールに出掛ける際は、校長先生の許可を得ること。

部活動見学に行こう！（中学校）

教室とは違った、子どもの輝く姿を見ることができます。

他の先生方の部活動指導を学ぶこともできます。

子ども理解ノートにメモしておこう！

「子ども理解ノート」を作っていますか？

電話した日、話した内容や理解したことなど、簡単に記録しておきましょう。

また、常日頃から、子どもの様子や指導したことをメモする習慣をつけましょう。

特に子どもの良い面を見つけた時には、メモしておきましょう。

面談を行う際、通知表に子どもの様子を記入する際などに便利です。

